

KANAGAWA ARTS PRESS

November, 2007

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川芸術PRESS79号(通巻83号)2007年11月15日発行(奇数月15日発行)
発行/神奈川県 編集/(財)神奈川芸術文化財団 ●禁無断転載・複写●

Creator's Voice 98

狂言師

野村 萬斎



芸術活動支援のページ 03&06

神奈川県内・公立施設催し物情報 04&05

特集 音楽堂バロック・オペラ「オルフェオ」 07

林家正楽 佐藤百合 二人会「冬の結晶」

写真:幸田 森

複雑な現代の日常を生きる「自分」の「本当」は一体どれか。
そんなアイデンティティの不確かさを、笑いを交えて
描く深遠さが、この作品の魅力であり強みだと思います。

狂言師

野村 萬斎

来年1月の神奈川県立青少年センターでの上演が、3年ぶりの再演となる『まちがいの狂言』。海外での公演も重ね、進化を続ける今作で出演のみならず演出も手掛け、また能・狂言公演に加え現代劇・映像作品でも幅広く活躍する野村萬斎さんに、作品の見どころを伺いました。

シェイクスピアの『間違いの喜劇』を元に、
狂言の様式を用いたこの『まちがいの狂言』
は、萬斎さんの演出作の中でも
最も再演を重ねたものかと思います。

2001年の初演からイギリス・グローブ座公演、国内での再演を経て、3年前は北米2都市でも上演した作品です。芸術監督を務める世田谷パブリックシアターで、私は「レパトリーの創造」という指針を掲げていますが、『まちがいの狂言』はそのモデル・ケースの作品に育ちつつあると言えるでしょう。上演リクエストも全国的に非常に多く、東京近郊とはいえ今回神奈川で公演できるのは良い機会だと思います。

多くの観客から支持される作品の魅力は、
どこにあるとお考えですか？

ひとつには、「古びない方法」を用いていること。この作品は、シェイクスピアという普遍的な価値を持つ作家の戯曲をベースに、狂言という古典芸能の表現方法、型としての揺るぎなさと、21世紀の今見ても通用する演技の斬新さを兼ね備えた演出を施してあります。両者ともに400年から600年以上の時を経てなお上演され、観続けられているものですから、観客を「観たい」と引きつける力の相乗効果がそこにあるのではないのでしょうか。また、これは偶然の産物ですが、劇の冒頭で使う「ややこしや〜」というフレーズがテレビの子供向け教育番組で使われ、劇場だけでは出会えないほど幅広い多くの方々に、作品を認知していただく機会を得た幸運もあると思います。

さらに、ちょっと複雑な話になりますが、台本を執筆して下さった故・高橋康也先生がこれを単なるシェイクスピアの原作（二組の双子が絡み合い、取り違えられることから混乱して起きる騒動を描く喜劇）の翻案ではなく、置かれた状況や人間関係によって揺らぐ、個人のアイデンティティの問題として大きく捉え直したことも、作品の現代性を高めた一因だと私は思います。私たちは会社や学校、家庭の中でそれぞれの役割を要求され、無意識に演じ分けている。そこへさらに、ネット上でのキャラクターまで加わるような複雑さが現代の日常にはあり、日々を生きる「自分」の「本当」は一体どれなのか。そんなアイデンティティの不確かさを、笑いを交え描く深遠さが、この作品の強みだと思います。

再演を重ねることでの、作品の変化や成長は
感じていらっしゃいますか？

舞台作品は作り手側だけのものではなく、客席からの反応あってこそ育つ、まさに「生き物」ですから、観ていただく機会が増えるほど作品も成長すると思っています。特にこの作品は、双子を一人で演じる複雑な構成なもので、最初のうちは演じている私たちの頭も“ややこしさ”に混乱したほど（笑）。公演中のお客様の反応で、伝わり具合や表現の過不足が分かり、整理されていったことは確かです。また海外、特にアメリカ公演では「これはスーパー・スラップスティックだ」というような評価を受け、言葉とは違う、身体表現の持つ力を再確認できました。



これまでの上演を経て、今回
さらに改訂される部分などはあるのでしょうか？

具体的にここを変える、ということはありませんが会場の青少年センターは大きめの劇場なので、劇場に合わせた多少のアレンジは必要かなと思っています。ひとつ特筆すべきは、今回は初演からのほぼオリジナル・メンバーによる上演ですが、それができるのはこれが最後かも知れないということ。作品は古びませんが、残念ながら演者は年をとるもので（笑）、初演から7年経とうとしているこの作品は、成長するという意味で次の段階へと上がるころなのかも知れません。

例えば次のステップのためのアイデアとしては、違う演者によるチームを新たに作り国内外で数多く公演を行えるようにする。演出は生かして、狂言に限らず現代劇の俳優の方に演じてもらうこと



も可能ではないかと考えてもいます。シェイクスピアという、世界的な共通言語がありますから、海外の俳優による上演も考えられますよね？ まあ、あまり大きなことばかり並べてはいけないのですが（笑）、そんな多彩な可能性がこの作品にはあるはず。神奈川公演後は、ワシントンD.C.での上演も決まっています。作品がさらに成長するその過程を、目撃していただけたらうれしいですね。

（聞き手・文：尾上そら）

プロフィール

野村萬斎（のむら・まんさい）

1966年生。野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。

国内外の狂言・能公演はもとより、『まちがいの狂言』など狂言の技法を駆使した舞台の演出・出演、また『オイディプス王』（蜷川幸雄演出）、『ハムレット』（ジョナサン・ケント演出）といった現代劇や、映画『陰陽師』の主演、NHK『にほんごであそぼ』への出演など幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。文化庁芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞等を受賞。2002年に世田谷パブリックシアター芸術監督に就任。「現代能楽集」「狂言劇場」「MANSAI◎解体新書」等、古典芸能と現代劇の融合を図った独自の企画で高い評価を得ている。芸術監督就任後、初めての演出作品となった『敦一山月記・名人伝一』（05年初演）では、その構成・演出で朝日舞台芸術賞・紀伊國屋演劇賞を受賞。著書に『萬斎でござる』（朝日文庫）、『狂言サイボーグ』（日本経済新聞社）、『狂言三人三様・野村萬斎の巻』（岩波書店）等がある。

まちがいの狂言

原作：W.シェイクスピア「間違いの喜劇」

作：高橋康也 演出：野村萬斎

出演：野村万作、野村万之介、野村萬斎、
石田幸雄、ほか万作の会

囃子：松田弘之（笛）、桜井均（太鼓）

●日程：2008年1月30日（水）19:00開演、
31日（木）14:00開演

●会場：神奈川県立青少年センター ホール

●料金：S6,000円 A5,000円 学生2,500円

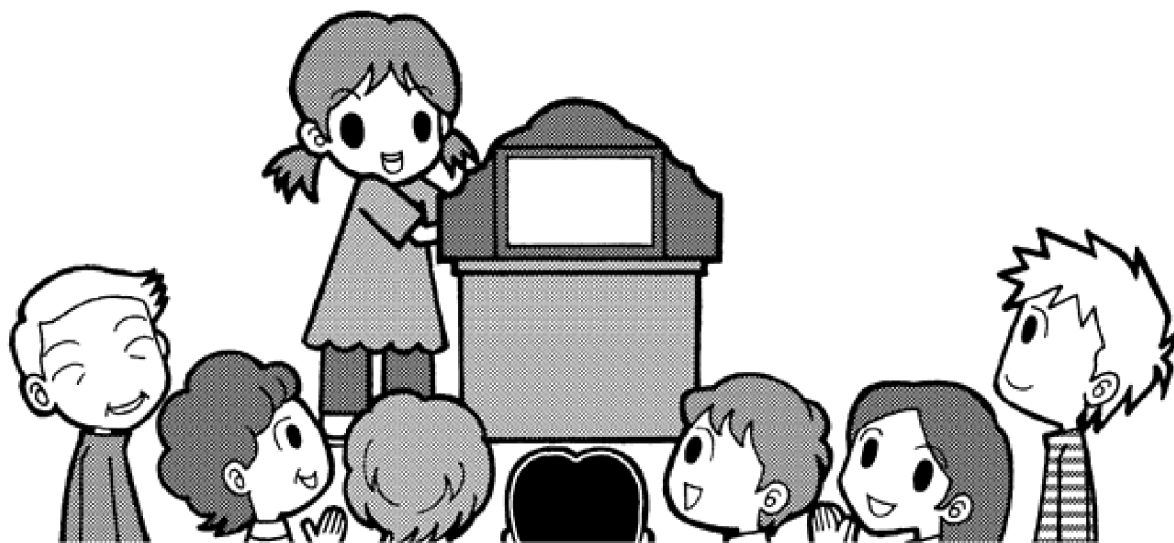
●チケット・お問い合わせ

県民ホールチケットセンター 045-662-8866

音楽堂チケットセンター 045-263-2255

●主催：神奈川芸術文化財団 神奈川県

「紙芝居」は我が国が世界に誇れる伝統文化であるとともに、ユニークなコミュニケーションツールでもあります。
そんな「紙芝居」の特徴を活かして、“神奈川”をPRする事業「かながわ紙芝居プロジェクト」をご紹介します。



「紙芝居」のイメージとして、駄菓子の味とともに、街頭紙芝居をなつかしく思い出される方も多いかもしれません。しかし、日本で生まれた独自の文化である「紙芝居」は、「KAMISHIBAI」として世界各地で注目を集めはじめています。これは、「紙芝居」が手軽にいつでも誰でもが楽しめるものでありながら、

芸術性や情報伝達機能など、様々な要素をあわせ持った奥深い『文化』であるからです。

わかりやすい豊かな言葉で、演じ手の実演を通して作品に込められた作者の思いを伝え、子どもの想像力を養い、子どもから高齢者まで一緒に楽しめる。「紙芝居」は、とりわけフェイス・トゥ・フェイスのコミュ

ニケーション文化としての魅力に溢れています。

そこで、神奈川県では、ゆかりの偉人や、県内で広がりを見せている運動などの『神奈川の魅力』を題材にした紙芝居を公募又は制作し、併せて紙芝居の「演じ手」の育成を行うことで、神奈川のPRに活用していきます。

①神奈川版「もったいない」紙芝居コンテスト作品募集!

「紙芝居」の制作を通して環境問題への啓発を図るため、「もったいない」をテーマに「紙芝居」のコンテストを開催します。「もったいない」の実践例などを盛り込んだ、個性溢れる手づくり紙芝居をお待ちしています。

●募集期間

平成20年1月15日(火)～1月31日(木)

※消印有効。持参される場合は期間中の平日9時～17時

●応募資格 神奈川県内に在住・在学・在勤の方。

●内容

紙製でB4サイズ。立体・仕掛けのないもの。

実演できる形で、枚数は20枚以内、

実演時間15分以内。

●選考委員

白井 貴子氏:かながわ環境大使

佐島 群日氏:帝京短期大学こども教育学科教授

長野 ヒデ子氏:紙芝居作家、絵本作家

橋 秀文:神奈川県立近代美術館専門学芸員 ほか

●表彰式 平成20年3月26日(水) 14:00

(会場:神奈川県庁本庁舎大会議場)

●ホームページ:<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/bunka/kamishibai/top.html>

※ 応募用紙は、上記URLからダウンロードできます。



②二宮金次郎を題材とした紙芝居の制作

現在、県西地域出身の偉人・二宮金次郎(尊徳)の知られざる偉業を紹介する紙芝居を制作しています。完成予定は平成20年3月で、県内の小学校や図書館などに配布する予定です。ぜひご活用ください。

③紙芝居演じ手育成ワークショップ

「かみしばい演じ方講座」

紙芝居実演の第一人者・右手和子氏らを講師にむかえ、「紙芝居の演じ方」のちょっとしたコツをお教えるワークショップ(体験型講座)を開講します。

●会場 小田原市民会館(小田原駅徒歩10分)

●日時 平成20年2月2日(土)・9日(土)(全2回)

13:00～16:00

●応募方法

往復はがきに会場名、郵便番号、住所、参加者氏名、年齢、電話番号、希望する活動場所(どこで紙芝居を上演したいか)、ご意見・ご質問等を明記のうえ応募してください。

●応募締切 平成20年1月11日(金)

県内文化情報のページ

神奈川県内・公立施設催し物情報(各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

※電話番号をお確かめの上、お間違えないようお願いします。

横浜市

■横浜美術館 045-221-0300

12月22日(土)～3月26日(水) 10:00～18:00
(金曜日は20:00閉館。入館は16:30まで)
GOTH ゴス展～身体のリアリティーを問い直す
現代作家のグループ展～
一般1,200円 大学・高校生700円 中学生
400円 小学生以下無料

■大佛次郎記念館 045-622-5002

1月4日(金)～3月23日(日)
10:00～17:00(入館は16:30まで)
特別展「21世紀の鞍馬天狗―見る、考える、行動する」
大人200円 小・中学生100円

■横浜にぎわい座 045-231-2515

1月1日(火)～1月15日(火)＊開演時間は興行による
横浜にぎわい座正月興行 元旦から連日、日替わりで、落語、漫才などバラエティに富んだ「笑い」を
1,500円～3,500円＊興行による

■横浜赤レンガ倉庫1号館 045-211-1515

12月7日(金)19:00、8日(土)・9日(日)15:00
日本―フィンランド―韓国ダンス共同制作プロジェクト
「Ääressä～かたわらで～」

■関内ホール 045-662-8411

12月7日(金)①14:00 ②18:00
キム・ヨンジャ日本デビュー20周年記念コンサート
―特別企画・生誕70周年美空ひばりを歌う―
S 5,500円 A 5,000円

■久良岐能舞台 045-761-3854

12月2日(日) 14:00
「あなたが能舞台に立つ日」
全席自由 3,000円 こども1,500円

■フィリアホール 045-982-9999

12月9日(日) 15:00
鈴木秀美ロマンの息吹 ピアノ・トリオの愉悅
S 5,000円 A 4,000円
(学生1,000円、残席がある場合のみ)

■神奈川県民文化センター

かなっくホール 045-440-1211

12月8日(土) 14:00
テーマ型コンサートシリーズVol.4
詩と音楽で綴る「ありがとう」
全席指定 3,500円

column: 県文化課からのお知らせ

Arts Fusion 2007 in KANAGAWA

かながわ詠み芝居シリーズ連続公演



横浜・神奈川を題材に演劇の発信を続けている
五大陸子さんを主演に迎え、神奈川ゆかりの女性を
とりあげたドラマリーディング2作品、①「エゲリア～生々
左転 岡本かの子」、②「走る女～国木田独歩の妻
佐々城信子」の連続公演を開催します。

- 脚本 瀬戸口郁 ●演出 西川信廣
- 出演 五大陸子・平田広明・関輝雄 ほか
- 公演日時 ①1月10日(木)19:00/1月12日(土)18:00
②1月11日(金)19:00/1月12日(土)13:00
- 会場 県立青少年センターホール
- 料金 1公演あたり3,000円(学生2,500円)
①と②の2演目セットで4,500円
県民ホールチケットセンター 045-662-8866
- お問い合わせ 県文化課文化事業班 045-210-3808

■県立神奈川近代文学館 中会議室 045-622-6666

1月6日(日)14:00～14:30
「露伴、茂吉、寅彦と小林勇展」展覧会記録DVD上映会
無料(要申し込み)

■県立青少年センターホール

1月6日(日)14:00
神奈川開港・開国150周年メモリアルイベント
「第2回新春お楽しみKOZA」

全席指定 一般1,000円 18歳以下 500円
県民ホールチケットセンター 045-662-8866

■県立歴史博物館 045-201-0926

12月15日(土)～1月14日(月・祝)月曜休館(祝日
を除く)9:30～17:00(入館は16:30まで)
コレクション展「魅惑の音色・蓄音機の楽しみ」
無料

■県立金沢文庫 045-701-9069

12月6日(木)～2月11日(月)
9:00～16:30(入館は16:00まで)
企画展「学僧 湛睿(たんえい)の軌跡」
観覧料 20歳以上(除学生)250円、20歳未満・
学生150円※65歳以上・高校生等以下・障害者
手帳をお持ちの方は無料

12月16日(日)13:30～15:30

冬期講座「称名寺長老湛睿の事績」
要当日観覧券 ※12月4日(火)までに往復はがきで

12月22日(土)13:30～15:00

月例講座「江嶋上之宮縁起とその周辺」
要当日観覧券 ※12月12日(水)までに往復はがきで

1月27日(日)13:30～15:00

月例講座「湛睿の学問遍歴」
要当日観覧券 ※1月16日(水)までに往復はがきで

川崎地区

■川崎能楽堂 044-222-7995

12月1日(土)第1部13:00 第2部15:30
第81回川崎市定期能
第1部 能「放下僧 ほかぞう」第2部 能「葛城 かつらぎ」
各部共ドナルド・キーンによる講演あり
全席指定 4,000円

■川崎市岡本太郎美術館 044-900-9898

開催中～1月14日(月・祝)

岡本太郎「藝術風土記」

―岡本太郎が見た50年前の日本
一般700円 学生・65歳以上 500円
中学生以下無料

■川崎市市民ミュージアム 044-754-4500

12月23日(日)～1月27日(日)
①「斎藤寿一展―青・風・宙の版画」
一般500円 学生・65歳以上 300円
中学生以下無料

1月12日(土)～2月3日(日)

②「川崎が生んだ世界の人形師
「与勇輝―神様のすみか」」
一般800円 学生・65歳以上 500円
中学生以下無料

①②のセット券 一般1,000円 学生・65歳以上 600円

横須賀・三浦地区

■横須賀美術館 046-845-1211

11月23日(金・祝)～12月16日(日)10:00～18:00
休館日12月3日(月)
清宮賢文展
一般700円 高・大・65歳以上 500円
中学生以下無料

1月6日(日)～28日(月)10:00～18:00 休館日7日(月)
公募展く横須賀を描く>
観覧無料

■よこすか芸術劇場 046-823-9999

<http://www.yokosuka-arts.or.jp>

12月9日(日)15:00
横須賀芸術劇場少年少女合唱団ステージ11
親と子のためのクリスマス・コンサート'07
全席指定 大人1,200円 3歳～小学生800円

12月16日(日)16:00
ケルティック・クリスマス～ケルト音楽の祭典～
S5,000円 A4,000円 B3,000円
学生(24歳まで)全席半額

1月3日(木)16:00

NEW YEAR 2008 ウィンナー・ワルツ・
オーケストラ～宮殿祝賀コンサート～
S5,000円 A4,000円 B3,000円
学生(24歳まで)全席半額

■鎌倉芸術館 0467-48-4500

大ホール
12月1日(土)15:00
大植英次 指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団
S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円

1月19日(土)16:00
プラハ国立劇場オペラ 歌劇「フィガロの結婚」
S 12,000円 A 9,500円 B 7,000円 C 5,000円

小ホール

12月3日(月)19:00
かまぐら能「楽」シリーズ 名曲鑑賞能第2回
全席指定 4,000円

■県立近代美術館

三館共通※月曜休館(祝日の場合営業し、翌日が
休み)開館9:30～17:00(入館は16:30まで)

葉山 046-875-2800

11月23日(金・祝)～1月14日(月・祝)
プライマリー・フィールド
美術の現在―七つのく場>との対話
一般900円 20歳未満と学生750円 65歳以上450
円 高校生以下と障害者の方は無料です。

鎌倉 0467-22-5000

開催中～12月16日(日)
日本画変革の先導者 玉村方久斗 たまむらほくと 展
一般900円 20歳未満と学生750円 65歳以上450
円 高校生以下と障害者の方は無料です。

神奈川県内・公立施設催し物情報（各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい）

※電話番号をお確かめの上、お間違えないようお願いします。

鎌倉別館 0467-22-7718

開催中～12月16日(日)

所蔵品に見る戦後の日本画

片岡球子・荏司福・上村松篁…

一般250円 20歳未満と学生150円 65歳以上の方、高校生以下と障害者の方は無料です。

■逗子文化プラザなぎさホール 046-870-6622

12月8日(土)・9日(日) 10:30

第3回逗子湘南ロケーション映画祭

全席自由 各1日券 1,000円

12月16日(日) 15:00

ソノス・ハンドベル・アンサンブルforクリスマス

全席指定 3,500円(当日4,000円) 子供2,500円

1月27日(日) 14:00

ファミリー名作ミュージカル アルプスの少女ハイジ

全席指定 2,500円(当日3,000円) 子供1,000円

■海南神社

1月15日(火) 10:00

チャッキラコ(国指定重要無形民俗文化財)

無料

三浦市教育委員会社会教育課 046-882-1111(内412)

■三浦市総合体育館(潮風アリーナ)

12月16日(日) 14:00

三浦市文化祭～演奏会～

無料(入場整理券を配布)

三浦市教育委員会社会教育課 046-882-1111(内411)

■三浦市民ホール

1月27日(日) 14:00

第3回シーサイドホール寄席

全席自由 1,000円(当日1,500円)

三浦市教育委員会社会教育課 046-882-1111(内411)

■葉山町福祉文化会館 046-876-1871

12月16日(日) 14:00

葉山の子どものための音楽会

ピアノ、チェロ、バイオリンの生演奏でおくる

音楽影絵劇「ピーターパン」

全席自由 大人1,000円 中学生まで500円

湘南地区

■平塚市民センターホール 0463-32-2237

12月2日(日) 14:00

第17回湘南ひらつか第九のつどい

全席自由 1,000円

12月21日(金) 18:30

レニングラート国立バレエ 白鳥の湖

S10,000円 A7,000円 学生席(高校生以下)4,000円

■平塚市中央公民館大ホール

12月8日(土) 14:00

第2回湘南ひらつか能狂言

指定席 3,000円 自由席 一般2,000円

自由席 高校生以下 1,000円

平塚市文化財団 0463-32-2237

■湘南台文化センター市民シアター 0466-28-1135

1月6日(日) 14:00

こどもステージ2008「あらしのよるに」

全席指定 大人 2,500円 小人 1,500円

■藤沢市民会館大ホール 0466-28-1135

12月8日(土) 15:00

梯剛之&N響メンバー による室内楽

S 4,000円 A 3,000円 B 2,000円 C 1,000円

1月27日(日) 15:00

グレート・マスタース in藤沢

S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 C 2,000円 D 1,000円

■茅ヶ崎市民文化会館 大ホール 0467-85-1123

12月9日(日) 14:00

茅ヶ崎市制施行60周年記念事業

第23回第九演奏会

全席自由 2,500円

1月20日(日) 17:00

チェコ国立フルノ歌劇場 ワーグナー「タンホイザー」

A 17,000円 B 14,000円 C 10,000円(学生6,000円)

1月25日(金) 19:00

東儀秀樹10周年新春コンサート 夢語り「雅楽と伎楽」

全席指定 6,500円

■秦野市文化会館 0463-81-1211

大ホール

12月2日(日) 15:00

高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト

全席指定 3,000円

小ホール

12月16日(日) 16:00

与論の風 かりゆしバンドLIVE

全席指定 3,000円

1月26日(土) 17:00

世良公則 O-kiraku LIVE in HADANO

全席指定 4,500円

■伊勢原市民文化会館 0463-92-2300

大ホール

1月22日(火) 19:00

佐野元春 & THE HOBO KING BAND

TOUR 2008 “Sweet Soul , Blue Beat”

全席指定 7,000円(当日7,500円)

小ホール

12月9日(日) 15:00

07' クリスマスコンサート マリンバデュオ&パーカッション

全席自由 500円

1月27日(日) 18:00

伊勢原ストリート「一歩」コンサート

全席自由 1,500円

■二宮町生涯学習センター 0463-72-6911

(ラディアン) ホール

1月20日(日) 16:00

オペラアリア名曲集と「こうもり」ハイライト

全席自由 大人 3,000円 小・中・高校生 1,000円

県央地区

■厚木市文化会館チケット予約センター 046-224-9999

大ホール

12月15日(土) 15:00

ソノス・ハンドベル・アンサンブル

全席指定 2,500円

小ホール

12月2日(日) 17:00

レッド・プリースト “カーニバル・オヴ・ザ・シーズンズ”

全席指定 4,000円

1月12日(土) 18:30

ヨハネへの道 ～レクチャーコンサート～第3回

「バッハは歌う」ーヨハネ受難曲とは?ー

全席自由 2,000円(当日2,500円)

■大和市生涯学習センターホール 046-261-0491

12月23日(日) 13:00

大和市音楽フェスティバル～吹奏楽の部～

無料

■海老名市文化会館小ホール 046-232-3231

12月2日(日)/1月20日(日) 14:00

海老名室内楽シリーズ 2007

全席指定 3,000円

■ハーモニーホール座間 046-255-1100

12月1日(土) 14:00 / 17:00

ケーシー高峰&カルーセル麻紀

爆笑コント・コンサートショー

S 4,000円 A・車イス席 3,500円

12月2日(日) 16:00

三原綱木&ロザンナジョイントコンサート

S 4,500円 A・車イス席 4,000円

12月9日(日) 14:00

大喜利+落語5席の超ビックイベント「ざま大喜利」

全席自由 1,000円(当日1,200円)

県北地区

■社のホールはしもと ホール

チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999

12月21日(金) 19:00

デビュー・アルバム発売記念

辻井伸行 ピアノ・リサイタル

全席指定3,500円(当日4,000円)

■グリーンホール相模大野 大ホール

チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999

12月6日(木) 19:00

グリーンホール相模大野 クラシック・ベスト・

コレクションドレスデン歌劇場室内管弦楽団

S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円

学生3,000円(席は当日指定)

12月14日(金) 19:00

ヘヴンリィ・クワイヤー クリスマス ゴスペル

コンサート GOSPEL IN CHRISTMAS

全席指定 4,200円 ベア券 8,000円

1月6日(日) 14:00

ニューイヤーコンサート2008 ウィーン交響楽団

ヨハン・シュトラウス・アンサンブル

全席指定 一般 4,000円 学生 3,500円

■相模原市民会館 ホール

チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999

12月4日(火) 18:30

林家たい平 独演会

全席指定 2,800円

■県立相模湖交流センター 042-682-6121

12月22日(土) 17:30

やまなみ クリスマスコンサート

全席自由 大人 2,000円(当日 2,500円)

小人(高校生以下) 1,500円(当日 2,000円)

親子席(親子ペア) 2,000円(当日 2,500円)

1月13日(日) 13:30

「新春寄席さがみこ」

全席指定 大人 2,500円(当日 3,000円)

小人(高校生以下) 1,500円(当日 2,000円)

親子席(親子ペア) 2,500円(当日 3,000円)

西湘・足柄地区

■真鶴町立中川一政美術館 0465-68-1128

常設展

大人600円、高校生以下 350円

(20名以上の団体は100円引)

■町立湯河原美術館 0465-63-7788

開催中～12月27日(木)

水曜休館(祝日の場合は営業し、翌日が休み)

9:00～16:30(入館は16:00まで)

平松礼二館企画展「ジャポニスムへの路」

大人600円、小・中学生300円

(15名以上の団体は100円引)

■南足柄市文化会館大ホール 0465-73-5111

12月24日(月・祝) 14:00

神奈川フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会

「ベートーヴェン第九」

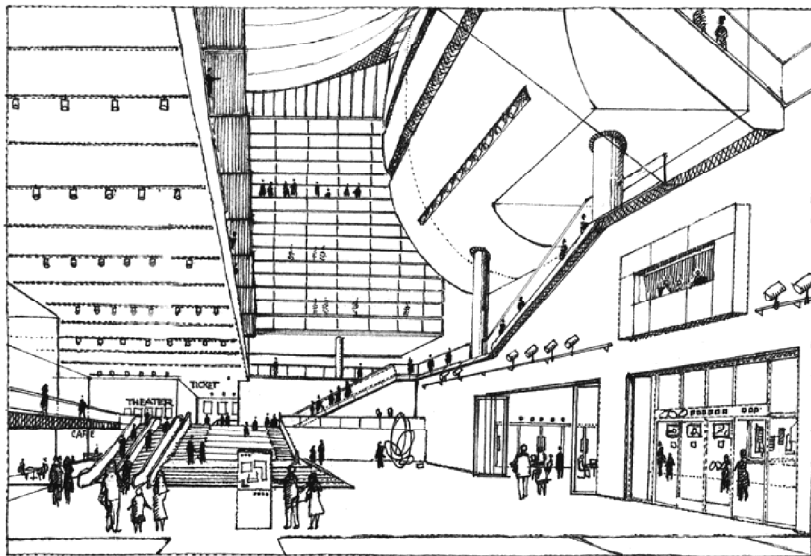
全席指定 一般 3,000円 学生 1,500円

(当日券 各500円増し)

県が、横浜の山下町地区に整備を進めている神奈川芸術劇場についてご紹介するこのコーナー。今回は、芸術活動支援のための諸室や、エントランスについてご紹介します。

■芸術活動支援のための諸室

舞台芸術作品を創造するためには、ホールや稽古場だけでなく、大道具や衣装を製作するためのスペースが必要です。神奈川芸術劇場では、次の諸室を整備して、そこでの上演作品を創造することだけでなく、利用される県民の文化芸術活動をサポートするために活用していきます。



<南エントランスから見たイメージ図>

【整備する諸室】

音響製作室：効果音の製作など

美術製作室：工作機器を備え、大道具・小道具の製作、補修など

衣装室：衣装の製作、補修など

■エントランス

エントランスは、神奈川芸術劇場のメインホールやスタジオの利用者と、NHK横浜放送局の来館者が交わる場です。そんなエントランス部分を魅力あるスペースとするため、開放感あふれるアトリウム（吹抜け）やイベントの際の客席としても利用できる大階段を備えた空間として整備しました。

この空間では、県、NHKそれぞれのイベントのほか、双方が連携・協力したイベントを開催し、積極的に賑わいを創出します。

■整備スケジュールについて

神奈川芸術劇場の竣工・開設については、平成21年を予定しておりましたが、次のとおりスケジュールの見直しを行いました。

[平成22年3月頃 竣工、平成22年秋 オープン]

「神奈川芸術劇場」に決定しました！

県立新ホールの「名称」につきましては、平成19年5月21日から平成19年6月29日までの間、公募しておりましたが、県内外の方々より3,103件（2,038名）という大変多数の応募を頂き、「神奈川県立新ホール開設推進委員会」の審査などを経て、このたび「神奈川芸術劇場」に決

定いたしました。

今後は「神奈川芸術劇場」の名称を使用し、県民の皆様に親しんでいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

ホームページ：<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/bunka/geijutsugekijou/index.html>



名称決定の発表の様子



完成イメージ

#001 音楽堂バロック・オペラ

「オペラ、誕生！」を告げる名作オペラ『オルフェオ』 木のホール・音楽堂に登場！

室内楽や合唱で利用されることが多い音楽堂ですが、開館した1954年の12月には、近衛秀麿指揮、二期会の「コシ・ファン・トゥッテ」が上演され、以来60年代半ばまでは年に30回を超えるオペラ、バレエの公演でにぎわったと記録されています。《音楽堂バロック・オペラ》は、そんな歴史を思い、木のホールの空間と音響を生かして、お客様に音楽の豊かさを楽しんでいただこうとお届けする企画。今回は、バロック時代の到来を告げた大作曲家モンテヴェルディのオペラ『オルフェオ』を上演いたします。本作品は今年で初演400年を迎えた名作。この機会に、当時を写す古楽器たちが奏でる古雅な響きに包まれて、ギリシャ神話のオルフェオとエウリディーチェの物語をお楽しみください。

『オルフェオ』はおしゃれな作品だと思う。新しいことをやろうと、卵の殻を割ろうとしているんです。モンテヴェルディは文学的な素養があって、台本の言葉を巧みに聴覚化しただけで、視覚

化も意識していて、譜面には楽器の演奏位置まで指示がある。その点、演出家のご先祖様ですね。今回の演出は「音を楽しむための視覚」。楽器も見えて、勿論音色も聞けて、歌ではイタリア語の言葉自体が生

み出す音楽も感じてほしい。舞台は「17世紀の宮廷貴族たちが演じて楽しむ」趣向。イタリアで製作する衣裳もいいし、当時の雰囲気や想像して貴族の気分で見たいです。

演出：伊藤隆浩

モンテヴェルディは、それ以前の和声の理論を無視してでも自分の表現を貫いた400年前のアバンギャルドですね。彼の時代には「ひとつの旋律と通奏低音の伴奏」という現在まで続く様式が生まれた

瞬間のパワーがあり、同時に、前の時代からの情動的な技法も継承されていて、音楽的に独特な味わいがあり

ます。また当時の人々には神様とダイレクトにつながれる直観力がまだあったようで、音楽から非常にスピリチュアルなものを感じます。

音楽監督・指揮：濱田芳通

音楽堂バロック・オペラ 初演400年 モンテヴェルディ作曲『オルフェオ』

出演 濱田芳通(音楽監督・指揮) 伊藤隆浩(演出) アントネッロ(管弦楽)

春日保人(オルフェオ) 高山潤子(エウリディーチェ) 花井尚美(ムジカ、プロセルピナ) 小笠原美敬(プルターネ) ほか

日時 2008年1月19日(土)・20日(日) 両日 15:00 開演(プレトーク14:30～) 会場 神奈川県立音楽堂

料金 S 9,000円 A 7,000円 B 5,000円 学生席 2,000円 音楽堂ホームページ <http://www.kanagawa-ongakudo.com>

#002 演芸 寄席をとびだす紙切り芸！

観客のお題通りに、ハサミを自在に操って「作品」を披露する紙切り芸。どこかで皆さんご覧になっていることでしょう。普段寄席では、落語と落語の間に挟まれてやられることが多いそうですが、今回出演する林家正楽師匠は、寄席では紙切りで史上初となる大トリを努めた実力者です。そんな正楽師匠が寄席をとびだし、紙切りをメインにした公演をみせてくれます。

この公演は、画家でイラストレーターの佐藤百合さんのアイデアから生まれました。佐藤さんは、現在CDジャケットやポスターなども手掛ける新進気鋭のアーティストです。佐藤さんの絵がところどころに飾られ、個展と紙切り高座が一緒になった一風変わったこの「二人会」は昨年より始まり、これまでに3回開催されています。今回は、お囃子にスペシャルゲストとして、華やかなフォーンセクションとファンクのリズムを特徴とする人気バンド・THE GUTSを迎え、寄席でしか見られない芸、ライブハウスでしか聴けない音楽、ギャラリーでしか見られないイラストレーションが一同に会して皆様をお待ちします。紙切りの新境地、是非皆様でお越しください！

カナガワ・アート・カフェ Vol.5

林家正楽 佐藤百合 二人会『冬の結晶』

日時 12月1日(土) 15:00開演 会場 神奈川県立青少年センター 2F 多目的プラザ

料金 全席自由 一般2,000円 学生1,800円 主催 財団法人神奈川芸術文化財団 神奈川県



切り絵：林家正楽



イラスト：佐藤百合

かながわアートホール

■見学ギャラリー

神奈川フィルハーモニー管弦楽団リハーサル公開(予定)無料

11月 27(火) 28(水) 29(木) | 12月 4(火) 18(火) 27(木)

※日時・内容が変更になる場合がありますので、詳細は神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局(TEL045-331-4001)までお問合せください。

■休館日

11/19(月)、11/26(月)、12/3(月)、12/10(月)、12/17(月)、12/25(火)、12/28(金)~2008年1/4(金)、1/7(月)
横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-341-7657
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/arthall/>

文化芸術振興条例(仮称)にご意見を!

県では、文化芸術振興条例(仮称)の制定に向けた基本的考え方等について、県民の皆さまからのご意見を募集するとともに、併せて文化芸術について考える県民フォーラムを開催します。

ご意見募集 募集期間:募集中~11月30日(金) 配布場所:県政情報センターのほか、県民ホール、県立音楽堂等で配布中、文化課のホームページにも掲載しています。 提出方法:ホームページ、郵送またはFAX

県民フォーラム 日時:11月27日(火) 18:30~20:30 場所:かながわ県民センター2階 ホール 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(横浜駅西口徒歩5分) パネリスト等:根木昭(東京芸術大学教授)、松尾子水樹(STSボット横浜主任学芸員)、草加叔也(空間創造研究所代表)ほか 定員:100名 申込み:氏名、連絡先を、FAXまたは電話で 締切:11月22日(木)

お問い合わせ・ご意見の提出先・フォーラムの申込先 県文化課文化企画班 〒231-8588(所在地は記載なくとも届きます) TEL045-210-3804 FAX045-210-8840 ホームページ(フォームメールがご利用になります)
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/bunka/jyourei/index.html>

神奈川フィルハーモニー公演情報

■グリーンホール相模大野

12月19日(水) 19:00
ベートーヴェン「第九」
S5,000円 A4,000円 B3,000円
学生(B) 1,000円
チケットムーヴ 042-742-9999

■神奈川県民ホール

12月20日(木) 19:00
The best X'mas Music
「クリスマスの夜を名曲で」
S5,000円 A4,000円 B3,000円
学生・シニア(B) 1,500円
県民ホールチケットセンター 045-662-8866

■横浜みなとみらいホール

2008年1月25日(金) 19:00
第241回定期演奏会
S6,000円 A4,500円 B3,000円
学生(小~大学生)(B) 1,000円
神奈川フィル・チケットサービス
045-226-5107(平日10:00~18:00)

広告

環境に優しいプリウス
これからの地球に役立つクルマです

PRIUS



PHOTO:特別仕様車 S "10th Anniversary edition"
車両本体価格 ¥2,730,000(税込み)

プリウスは
車両本体税込価格 226.8万円からお求めいただけます。

神奈川トヨタ

本社 横浜市神奈川区栄町7-1 フリーダイヤル0120-212119(お客様相談室)
<http://www.kanagawatoyota.com>

神奈川県

県民部文化課 文化企画班
電話(045)210-3804(直通) FAX(045)210-8840
横浜市中区日本大通1 231-8588
電話(045)210-1111(代) 内線3804~3807
<http://www.pref.kanagawa.jp/>

地球にやさしい引越しは、
奥様にやさしい引越しでした。

With Your Life

日本通運 NIPPON EXPRESS

フルバック
ハーフバック
セルフバック
単身バックS
単身バックL



手間も、ゴミも、
費用も減らせる
引越し。

えころじ
こんぽ

えころじこんぽは、
日本通運の登録商標です。

お見積り無料。まずはお電話を!

0120-855507

広告

www.nittsu.co.jp/hikkoshi

神奈川県小田原市風祭二四五
〇四六五二四二二(代)



広告

www.kamaboko.com

かまぼこは
海からの贈りもの
鈴廣かまぼこは
天然素材

安心を贈る。



趣味の世界へ誘う創造空間がここにある。
クラフト・画材・文具の店

Uni art

らぽーと横浜 ノースコート3F

詳しくは→ <http://unidy.info/uniart/> をご覧ください。

800坪の売場に創造を
かきたてる素材と道具が **100,000アイテム!**

Art

画材

国内絵具、海外絵具、キャンパス、スケッチブック、イーゼル、画筆、パステル、色鉛筆、エアブラシ、デザイン用品、日本画、書道、絵手紙、コミック、ネイルアート、製図、ステーションナリ、万年筆、洋紙、和紙、ペーパークラフト、ウェンディング

Frame

額

油絵額、水彩額、立体額、デッサン額(正方形・長方形・OA・変形)、和額(色紙・日本画・書道・短冊) 貴状額、ポスターフレーム、フォトフレーム、掛軸、屏風、オーダーフレーム、マット加工(フィレ・面金)、オーダーミラー、裏打ち加工、装裱加工

Craft

クラフト

形造、シリアルクレイ、ステンドグラス、バーナーワーク、エッチング、陶芸、漆工芸、木彫、クラフト粘土、染色、木工芸、シガラ木、鉄道模型、レザークラフト、チャイナペイント、シルクフラワー、押し花、タイルクラフト、トールペイント、ステンドシル、ラッピング、七宝、サイエンス、子供工作、ドールハウス、アートフラワー、アロマ、手作り時計、木工芸、電動工具、DIY

Order Studio

印刷・加工

オリジナルウェア(チームTシャツ・ポロシャツ・トレーナー・アメリカンキャップ)、オーダーメモリアルグッズ(記念品)、オリジナルプリント、オリジナルウエルカムボード、デザインポスト、表紙、おしゃべりコンボ、ポスター印刷、シール、カーステッカー、オーダースタンプ、レーザー木彫刻、カッティングシート加工

Creator's Gallery ギャラリー

募集



このギャラリーでは、横浜市の文化振興を目的に、アート系の学校、団体サークル、個人作家などのPRとタイアップのイベントを企画していきます。

お問合せ/担当:坂部・飯野まで

クラフト・画材・文具の店

Uni art

TEL 045-414-2370
営業時間 AM10:00~PM9:00

●車でのアクセス
東名高速道路 横浜青葉ICより4.5km
第三京浜 港北ICより2.5km

●電車でのアクセス
JR横浜線「鶴屋」駅より徒歩7分
横浜市都筑区池辺町4035-1(NEC横浜事業場跡地)

Uniart 湘南平塚店

神奈川県平塚市久保堤1-2
TEL 0463-25-0784 営業時間 AM9:30~PM9:00